

野菜や果物が家庭に届くまで

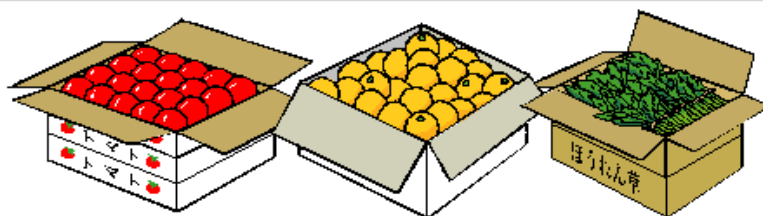
私たちが毎日食べている野菜や果物は、一体どのようにして私たちの家庭に届いているのでしょうか？

普段見ることのない市場の中も含めて、野菜や果物ができてから私たちの家庭に届くまでをみてみましょう。

農家の人たちによって野菜や果実が作られます



作った品物の多くは市場へ出荷されます



なぜ市場が必要なの？？

市場は次のような役割をもっています。

●野菜や果実を集める役割

愛媛県内はもちろんのこと、全国各地や世界中の国々からたくさんの種類や量の野菜や果実を集めます。

●適正な価格をつける役割

野菜や果実は、天候などによってでき具合やできる量が変わります。

それにより、毎日値段が大きく変わってしまうと私たち消費者は困ります。

そうならないように、毎日せりなどをして値段を決め、売る人も買う人も平等になるようにしています。

●野菜や果実を分ける役割

集められたたくさんの野菜や果実を、すばやく確実にスーパーや八百屋などのお店に分けます。

●お金のやりとりを円滑にする役割

市場ではたくさんの取引がおこなわれます。

その取引で発生したお金のやりとりをすばやく確実にこなします。

●情報を集める役割

野菜や果実は長い間保存することが難しいため、必要な分だけ集めることが大切です。

そのため消費者や産地に関する情報などを集めます。



市場に届いた野菜や果実は…

市場に届いた品物は卸売業者のもとへ集まります。

卸売業者：せり売りや相対売りで仲卸業者や売買参加者に販売します。

せり売り…買い手(仲卸業者・売買参加者)が競い合い、一番高い値段をつけた人に売る方法

相対売り…売り手(卸売業者)と買い手(仲卸業者・売買参加者)の話し合いで値段を決める方法



仲卸業者：

仲卸業者は、せりなどに参加して買い取った商品を、仕分け・調整などをして、市場内の店舗で売買参加者や買出人に販売します。

売買参加者：

売買参加者はせりなどに参加し、卸売業者や仲卸業者から買い取った商品を自らのお店などで販売します。

買出人：

買出人はせりに参加できないため、相対売りで仲卸業者から商品を買取り、自らのお店などで販売します。

他にも市場には、関連事業者とよばれる人たちが働いています。

● 関連事業者

関連事業者は 市場の中で働く人や市場に食品の仕入れに集まる人たちが、限られた時間の中で、有効に仕事ができるよう、食堂・銀行・運送など様々な便利なサービスを提供しています。さらに小売店や飲食店が急いで食料品を調達し、素早く販売することができるように生鮮農産物以外の惣菜・日配品・菓子・パン・乾物などいろいろな加工食料品を揃えて販売し、食品の流通に役立つよう支援する大切な役割を担っています。

スーパーや小売店などの店舗に並び販売されます





こうしてたくさんの人たちの働きによって、
私たちのもとへ新鮮な野菜や果実が届いています。